

令和8年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜

適性検査結果の概要

1 学校別受検状況

学 校 名	募集定員 (a)	志願者数	受検者数 (b)	受検倍率 (b) / (a)	合格者数
岡山操山中学校	105 (120)	356 (372)	351 (363)	3.3 (3.0)	105 (120)
倉敷天城中学校	105 (120)	286 (287)	278 (284)	2.6 (2.4)	105 (120)
津山中学校	70 (80)	130 (120)	129 (117)	1.8 (1.5)	70 (80)
岡山大安寺中等教育学校	140 (160)	378 (404)	367 (395)	2.6 (2.5)	140 (160)
計	420 (480)	1,150 (1,183)	1,125 (1,159)	2.7 (2.4)	420 (480)

() は令和7年度

2 適性検査Ⅰ及びⅡの全体最高、最低、平均点(100点法換算)

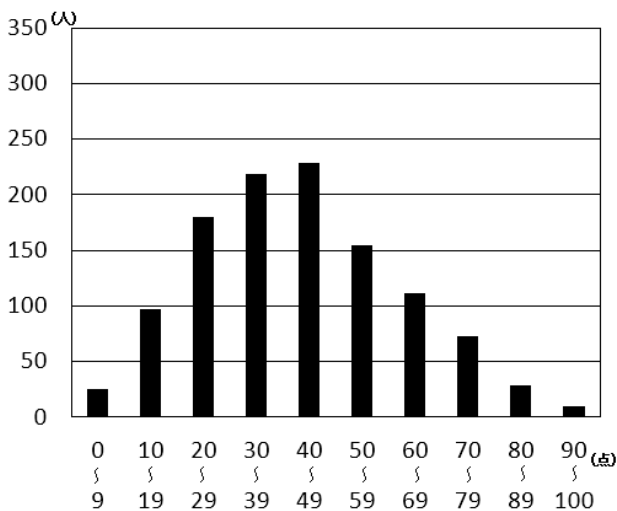
	R 8			R 7	R 6
	最高点	最低点	平均点	平均点	平均点
適性検査Ⅰ	100	3	42.2	57.8	54.0
適性検査Ⅱ	96	3	54.8	56.1	48.0

(適性検査Ⅰ：身のまわりの事象や自然の現象等を題材としたもの)

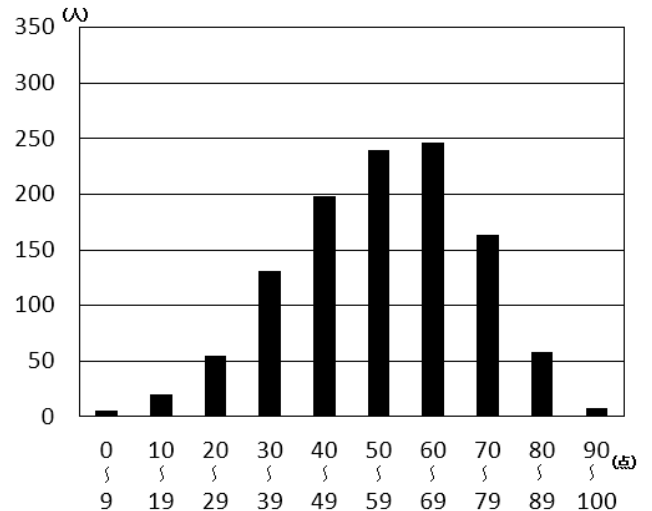
(適性検査Ⅱ：日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材としたもの)

3 度数分布

適性検査Ⅰ



適性検査Ⅱ



本冊子は、課題ごとに次のとおり構成されています。

1 適性検査Ⅰ（課題1～3）

出題のねらい

- (1) 課題1 設問(1)～(3)
- (2) 課題2 設問(1)～(3)
- (3) 課題3 設問(1)～(3)
 - (ア) 設問のねらい
 - (イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容
 - (ウ) 応答率
 - (エ) 正答例

2 適性検査Ⅱ（課題1～3）

出題のねらい

- (1) 課題1 設問(1)～(5)
- (2) 課題2 設問
- (3) 課題3 設問(1)～(3)
 - (ア) 設問のねらい
 - (イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容
 - (ウ) 応答率
 - (エ) 正答例（課題2は評価基準）

目 次

1 適性検査Ⅰ	
出題のねらい	1
(1) 課題1	
設問(1)	1
設問(2)	3
設問(3)	4
(2) 課題2	
設問(1)	5
設問(2)	6
設問(3)①	7
②	8
(3) 課題3	
設問(1)	9
設問(2)	10
設問(3)①	11
②	12
2 適性検査Ⅱ	
出題のねらい	13
(1) 課題1	13
設問(1)	15
設問(2)	16
設問(3)	17
設問(4)	17
設問(5)	18
(2) 課題2	
設問	19
(3) 課題3	
設問(1)	20
設問(2)	21
設問(3)	22

1 適性検査 I

出題のねらい

ア 全般的なねらい

身のまわりの事象や自然の現象等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

イ 課題ごとのねらい

課題 1

日常の事象における問題解決の過程の中で、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を働かせ、必要な情報を捉え、選択・活用しながら課題を解決する力をみる。

課題 2

日常生活で見られる事物・現象に疑問をもち、図や表を活用しながら、既習事項や実験結果と結び付けて考察する力をみる。

課題 3

日常の事象について既習の知識を活用し、グラフの読み取りに関する理解や問題場面の条件に即して処理をしたり、立体図形を多面的に見て問題解決をしたりする力をみる。

(1) 課題 1

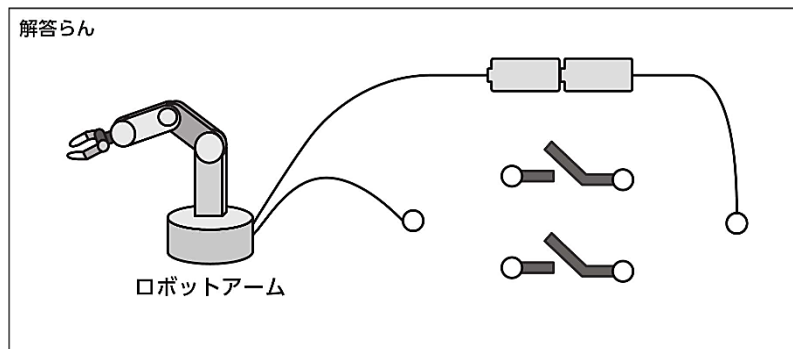
太郎さんと花子さんは、地域の祭りでロボットアームを使ったゲームを計画しています。まず、ロボットアーム作りのヒントをもらうために、ロボット製作会社に調査に行きました。あとの(1)～(3)に答えましょう。

設問 (1)

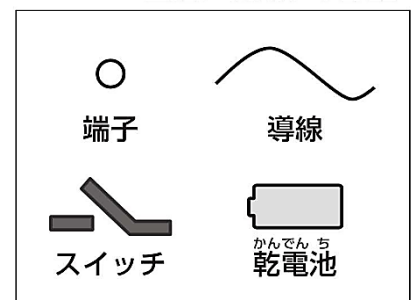
太郎：タブレット型端末のように、ID（個人を特定する情報）とパスワードを入力したら起動するロボットアームを作りたいな。

花子：IDとパスワードは難しいけど、スイッチを入れるときだけ動作するロボットアームなら作れるよ。

- (1) 資料1は、ロボットアームの回路に使用する部品です。2つあるスイッチの両方を入れるときだけ回路に電流が流れてロボットアームが動作するように、端子どうしを導線でつないで解答らんの回路を完成させましょう。ただし、端子をつなぐ導線は、必要な数だけ使用してもよいですが、導線どうしが交わらないようにかきましょう。



資料1 ロボットアームの回路に使用する部品



(ア) 設問のねらい

乾電池のつなぎ方に関する知識を基に、条件に即して回路図を表現することができるかをみる。

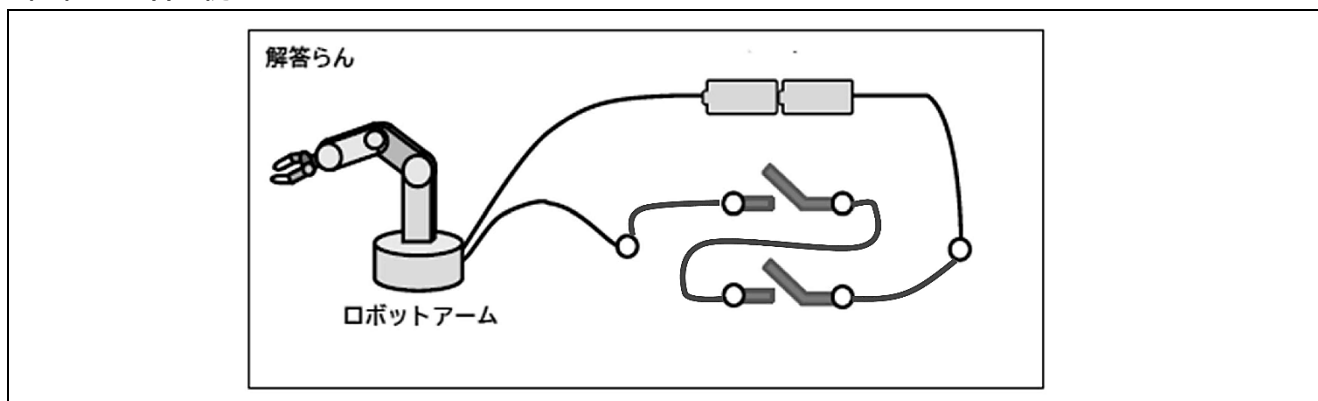
(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第4学年	A 物質・エネルギー (3) 電流の働き イ 電流の働きについて追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。
----	------	--

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	62.0%	0.0%	34.7%	3.3%

(エ) 正答例



設問（2）

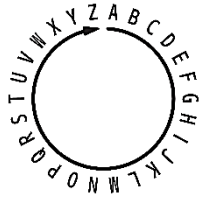
太郎：それなら、暗号クイズを出題して、暗号が解けた人にロボットアームを操作してもらうのはどうかな。

花子：おもしろいね。例えば、昔からある暗号の知識を活用して、「YAMA3」という文字列をアルファベット順に3個ずらすと、「BDPD3」という文字列に変換するルールはどうか。

太郎：同じルールを使うと「KURUMA12」は「WGDGYM12」と変換できるね。

資料2 暗号のルール

変換前	変換後
YAMA3	BDPD3
KURUMA12	WGDGYM12
(あ)	KMKM24



アルファベット順
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

(2) 資料2は、暗号のルールを示しています。資料2をもとに、「KMKM24」の変換前の文字列(あ)を答えましょう。ただし、1つのマス目には、1文字または1けたの数字を書きましょう。

(ア) 設問のねらい

暗号の規則性を見だし、条件に即して表現することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第5学年	〔数学的活動〕 ア 日常の事象から算数の問題を見だして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動
----	------	--

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	20.6%	74.8%	1.8%	2.8%

(エ) 正答例

MOMO24

設問 (3)

花子：ロボット製作会社では、自動車を組み立てているロボットについて、くわしく教えてもらえたね。

太郎：新型ロボットのスムーズな動きにびっくりしたよ。

花子：旧型ロボットに比べると、作業にかかる時間がとても短いのが印象的だったな。

太郎：A社では、毎日の生産台数が決められていたね。A社の2つの工場が協力して生産しているらしいよ。

資料3 ロボット製作会社での聞き取り調査のメモ

- ・ A社では、1日に組み立てなければならない自動車の台数を「日毎生産台数」と呼んでいる。
- ・ 日毎生産台数は毎日同じ。
- ・ A社にはアとイの2つの工場がある。
- ・ アとイの2つの工場のちがいは

	工場ア	工場イ
作業しているロボットのタイプ	旧型	新型
1つの工場だけで日毎生産台数を組み立てるのにかかる時間	15時間	10時間

- ・ 1時間に2つの工場を組み立てられる自動車の台数は合わせて100台。

(3) 資料3は、ロボット製作会社での聞き取り調査のメモです。資料3をもとに、A社の自動車の「日毎生産台数」は何台か答えましょう。また、その理由を式や言葉を使って説明しましょう。

(ア) 設問のねらい

目的に応じて問題場面の数量関係に着目し、問題を数理的に処理することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第5学年	<p>A 数と計算 (5) 分数の加法、減法 ア (ア) 異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。</p> <p>C 変化と関係 (3) 割合 イ (ア) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。</p>
----	------	---

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	25.0%	15.0%	43.9%	16.1%

(エ) 正答例

説明

日ごと生産台数を1としたとき、A社の1時間あたりの生産台数は、

$$\frac{1}{15} + \frac{1}{10} = \frac{1}{6} \text{ となる。}$$

工場アとイが協力して日ごと生産台数を組み立てるためにかかる時間は、

$$1 \div \frac{1}{6} = 6 \text{ より6時間とわかる。}$$

1時間に2つの工場を組み立てることのできる自動車は100台なので、

$$100 \times 6 = 600 \text{ から日ごと生産台数は600台である。}$$

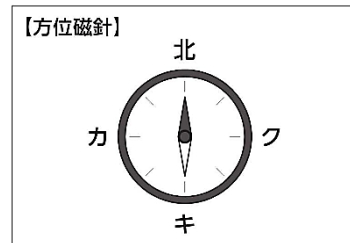
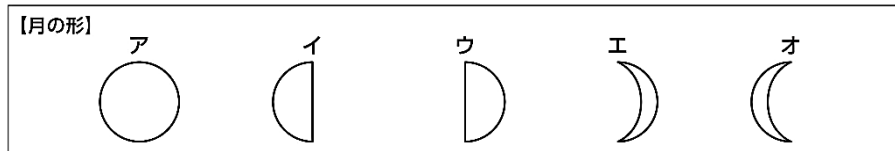
600台

(2) 課題2

次の(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

(1) 太郎さんの住む岡山県では、ある日の午後6時、半月がその日のうちで一番高い位置に見えました。それから1週間後の同じ時近くに、同じ場所に立って月を見たとき、どのような形の月がどの方向に見えますか。①月の見え方を【月の形】ア～オから、②そのとき月が見える方向を【方位磁針】カ～クから、それぞれ最も適切なものを記号で答えましょう。ただし、方位磁針は水平な地面に置いてあるものとします。



(ア) 設問のねらい

時間の経過による太陽と月の位置関係の変化から、地球から見える月の形や位置を判断することができるかを見る。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第4学年	B 生命・地球 (5) 月と星 イ 月や星の特徴について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、月や星の位置の変化と時間の経過との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。
	第6学年	B 生命・地球 (5) 月と太陽 ア(ア) 月の輝いている側に太陽があること。また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	33.7%	39.6%	26.7%	0.1%

(エ) 正答例

① ア ② ク

設問（2）

（2） 花子さんは、自由研究で水の蒸発について調べることにしました。そこで、「水の量が多いほど、同じ時間に蒸発する水の量は多くなる。」と仮説を立て、同じ形の容器を3つ準備して、実験をしました。

図1のAとBの容器には水5.0gを入れ、Bの容器はラップシートでおおいました。Cの容器には、水10.0gを入れました。温度を一定に保つことができる装置を30℃に設定し、A～Cの容器を入れて、12時間ごとにそれぞれの容器全体の重さを電子てんびんで計りました。表1は、実験の結果をまとめたものであり、Aの容器に入っている水は実験中にすべて蒸発しました。

実験の結果をもとに考察すると、花子さんの仮説は正しいと言えるでしょうか。ア、イのいずれかを選び、記号を○で囲みましょう。また、その理由を数値を用いて説明しましょう。ただし、ラップシートの重さは考えないものとします。

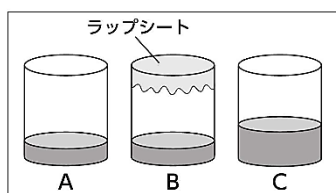


図1 実験の様子

表1 12時間ごとのA、B、Cの容器全体の重さ

	開始時	12時間後	24時間後	36時間後	48時間後	60時間後
Aの重さ	42.1 g	40.8 g	39.5 g	38.2 g	37.1 g	37.1 g
Bの重さ	42.1 g	42.1 g	42.1 g	42.1 g	42.1 g	42.1 g
Cの重さ	47.1 g	45.8 g	44.5 g	43.2 g	41.9 g	40.6 g

（ア）設問のねらい

水の蒸発についての仮説に対して、実験結果の数値を基に仮説の真偽を考察し、説明することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第4学年	B 生命・地球
		(4) 天気の様子 ア (イ) 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと。また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあること。 イ 天気や自然界の水の様子について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。

（ウ）応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	28.7%	43.7%	26.5%	1.1%

（エ）正答例

記号 イ
 説明 AとCを比かくすると、36時間後までの12時間ごとに、どちらも水が1.3gずつ減少しているから。

設問 (3) ①

(3) 太郎さんと花子さんは、つり合いを利用したモビールというおもちゃを作ろうとしています。図2のように、棒1と棒2のそれぞれの位置に糸をつけ、おもりをのせる皿1～皿3をつりました。おもりは、100gと50gが1つずつ、10gがたくさんあります。次の①、②に答えましょう。ただし、棒や糸、皿の重さは考えないものとします。

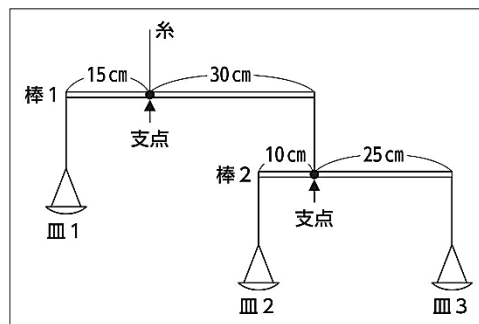


図2 モビールというおもちゃのイメージ

- ① 棒2を水平につり合わせるには、皿2と皿3のどちらが重くなるようにおもりをのせればよいですか。ア、イのいずれかを選び、記号を○で囲みましょう。また、その理由を「支点」という言葉を用いて説明しましょう。

(ア) 設問のねらい

1つの棒を水平につり合わせるために、力を加える位置や力の大きさの関係性に基づいて、適切な言葉を用いて表現することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第6学年	<p>A 物質・エネルギー</p> <p>(3) てこの規則性</p> <p>ア (ア) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があること。</p> <p>イ てこの規則性について追究する中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。</p>
----	------	---

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	75.0%	14.3%	9.5%	1.2%

(エ) 正答例

記号 ア

説明 てこをかたむけるはたらきは、「力の大きさ×支点からのきより」で表すことができるので、支点からのきよりが短い皿2にのせるおもりを重くしなければならないから。

設問 (3) ②

(3)

- ② 2人は、最も少ない数のおもりを使って、棒1と棒2を同時に水平につり合わせようとしています。そのとき、100gと50gのおもりは必ず使うものとする、10gのおもりは最低何個必要ですか。また、100gと50gのおもりをのせる皿を皿1～皿3から選び、それぞれ()に書きましょう。

(ア) 設問のねらい

糸でつながった2つの棒を同時に水平につり合わせるために、この規則性に基づいて、条件に応じた方法を考えることができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第6学年	A 物質・エネルギー (3) この規則性 ア (ア) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があること。 イ この規則性について追究する中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。
----	------	--

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	23.0%	0.0%	69.1%	7.9%

(エ) 正答例

10gのおもりは最低(6)個必要。100gのおもりは皿(1)に、50gのおもりは皿(2)にのせる。

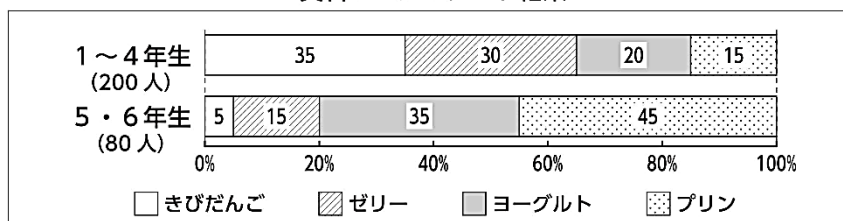
(3) 課題3

次の(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

(1) 太郎さんの小学校では、全校児童を対象に給食の好きなデザートについてのアンケートを行いました。下の資料1は、1～4年生の合計200人と、5・6年生の合計80人に行ったアンケートの結果をそれぞれグラフにまとめたものです。資料2は、太郎さんが資料1から読み取ったことです。資料2のア～ウのうち、「資料1からは分からないもの」を選んで、記号で答えましょう。また、その理由を説明しましょう。

資料1 アンケート結果



資料2 太郎さんが資料1から読み取ったこと

- ア 全校児童では、ゼリーよりきびだんごを選んだ割合が高い。
- イ 5年生と6年生は、どちらの学年も、プリンを選んだ人数が最も多い。
- ウ ヨーグルトを選んだ人数は、1～4年生よりも5・6年生の方が少ない。

(ア) 設問のねらい

グラフを読み取り、その正誤を判断した理由を説明できるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第5学年	D データの活用
		(1) 円グラフや帯グラフ ア (ア) 円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解すること。 イ (ア) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	62.3%	11.0%	24.1%	2.6%

(エ) 正答例

記号 イ

説明 グラフは5・6年生を合わせたグラフなので、5・6年生のそれぞれで、プリンを選んだ人が最も多いかどうかはわからないから。

設問（2）

（2） 太郎さんはクラス会のために、お店で1本^{せいぬ}税抜き125円で売られているジュースを36本準備しようとしています。このお店ではジュース1本に1枚のシールがはられていて、シールを5枚集めると、同じシールがはられたジュースを1本無料でもらえるサービスを行っています。太郎さんは、このサービスを利用して最も安くなるようにジュースを36本準備することにしました。このとき、^{こうにゆう}購入するジュースの本数とその代金を答えましょう。ただし、8%の消費税がかかるものとします。

（ア）設問のねらい

問題場面の数量関係や条件等に着目し、問題を数理的に処理することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第3学年	A 数と計算 (3) 乗法 イ（ア） 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。
	第4学年	A 数と計算 (6) 数量の関係を表す式 イ（ア） 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式に意味を読み取ったりすること。 C 変化と関係 (1) 伴って変わる二つの数量 イ（ア） 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。

（ウ）応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	18.7%	10.6%	67.4%	3.4%

（エ）正答例

本数	29本
代金	3,915円

設問 (3) ①

(3) 図1は、各面に1～6までの数字が書かれた立方体の展開図です。図1の展開図を組み立ててできる立方体をぴったりつなげて、図2のような直方体や図3のような立体を作るとき、立方体どうしが接している面の数字は見ることはできなくなります。

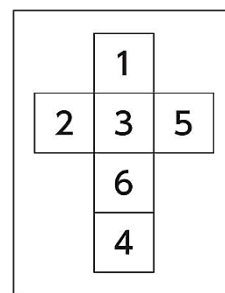


図1 立方体の展開図

① 図1の展開図を組み立ててできる立方体を18個つなげて図2のような直方体を作ります。どの方向から見ても見ることのできない数字の合計が最も小さくなる時、次の3通りの立方体は、それぞれいくつあるか答えましょう。ただし、図2の直方体のすべての面はどこにも接していないものとして。

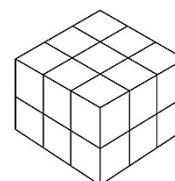


図2 立方体をつなげて作った直方体

(ア) 設問のねらい

立体図形を様々な方向から見たり、回転させたりして空間認知能力を働かせながら、整理して表現することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第4学年	B 図形
		(2) 立方体、直方体などの立体図形 ア (ア) 立方体、直方体について知ること。 (ウ) 見取図、展開図について知ること。 イ (ア) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	38.4%	19.7%	30.7%	11.2%

(エ) 正答例

6だけが見える立方体	2個
6と5だけが見える立方体	8個
6と5と4だけが見える立方体	8個

設問 (3) ②

(3)

② 図1の展開図を組み立ててできる立方体を28個つなげて図3のような立体を作り、水平な床に置きます。図4は、図3の立体を真上から見た図です。どの方向から見ても見ることができない数字の合計が最も小さくなる時の合計を答えましょう。また、その求め方を式や言葉を使って説明しましょう。ただし、床に接している面は、下から見ることができないものとします。

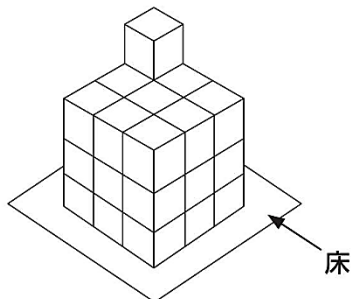


図3 立方体をつなげて作った立体

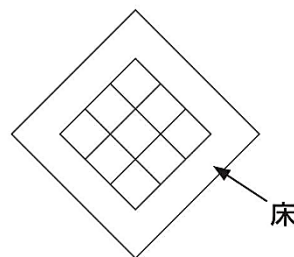


図4 図3の立体を真上から見た図

(ア) 設問のねらい

立体図形を様々な方向から見たり、回転させたりして空間認知能力を働かせながら、整理して表現することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第4学年	B 図形
		(2) 立方体、直方体などの立体図形 ア (ア) 立方体、直方体について知ること。 (ウ) 見取図、展開図について知ること。 イ (ア) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	3.1%	23.3%	35.4%	38.2%

(エ) 正答例

説明
1～6の和は21
6だけ見える立方体は9個、 $(21-6) \times 9 = 135$
6と5だけ見える立方体は13個、 $(21-11) \times 13 = 130$
6と5と4だけ見える立方体は3個、 $(21-15) \times 3 = 18$
2～6が見える立方体は1個、 $(21-20) \times 1 = 1$
すべての面が見えない立方体は2個、 $21 \times 2 = 42$
それらの合計は、 $135 + 130 + 18 + 1 + 42 = 326$
合計 326

2 適性検査Ⅱ

出題のねらい

ア 全般的なねらい

日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

イ 課題ごとのねらい

課題1

説明的な文章を読んで、漢字や語句の由来に興味をもつなど、語感を豊かにしているかをみる。また、複数の資料や叙述から目的に応じて必要な情報を見付け、内容を要約したりまとめたりすることを通して、考えを広げたり深めたりすることができるかをみる。

課題2

示された課題に対し、提案や理由を明確にしながら、筋道を立てて自分の考えを文章に書くことができるかをみる。

課題3

地域間のもののやりとりについての問題解決的な学習場面を設定し、複数の資料を読み取りながら、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に捉え、考えたことや選択・判断したことを適切に表現することができるかをみる。

(1) 課題1

太郎さんは、^{たろう} 図画工作の授業で資料①【ピカソ「ゲルニカ」】を見たことや、資料④を読んで思ったり感じたりしたことを友人と話し合っています。資料①から資料④を読んで、(1)から(5)に答えましょう。(資料① ピカソ「ゲルニカ」の絵画の図)

資料②【話し合いの様子の一部】

太郎 今日この図工の時間に、絵の感想をグループで話し合ったよね。人によって見るポイントがちがって面白かったな。この前、先生がしょうかいしてくれた文章(資料④)にも書いてあったけど、話し合ったあとに、改めて絵を見ると、最初に見たときとイメージが変わるのがおどろきだったよ。

次郎 ^{じろう} その文章の中に「アップデート」って、^{むずか} 難しい言葉が出てきてたけど、たしか「情報などを最新の状態にしておくこと」という意味だったよ。文章は、自分自身をアップデートすることが大切だっていう内容だったね。

太郎 文章には「繰り返す」という^{こうい}行為が、「学ぶこと」そのものだと書かれていたよね。ふく習することと似ているね。

花子 ^{はなこ} そうだね。小さな子どもの例がとても分かりやすかったな。小さな子どもは を繰り返すことで言葉を学んでいくんだよね。

太郎 ぼくは今日の図工の時間で、学習の記録(資料③)に「」と書いたよ。友達と話し合ってみて、考えが深まったし、他のことも知りたいと思ったからね。こんなふう書いてみると、自分自身がアップデートされたことがよく分かるね。

次郎 そうだね。だから、学習の記録を書くことは、とても大事なんだね。また、今日の図工みみたいな学習にチャレンジしたいな。

資料③【太郎さんの学習の記録】

学 習 の 記 録			
6年 1組 5番 氏名(岡山 太郎)			
日付	1人で考えたこと	友達と話したこと	授業の最後に考えたこと
12/4	えがかれている人が苦しうだし、色も白黒でこわい印象をうけた。	この作品は戦争をえがいたものだった。	B
/			

資料④【先生がしょうかいしてくれた文章の一部】

「人は、どうやって学ぶのか」

そう聞かれて、パツと答えられるのでしょうか？意外と難しいですね。

イメージしやすいように、小さな子どもが言葉を覚えていく様子を想像しながら考えてみたいと思います。

小さな子どもは、文字を読むことができません。それでも言葉を覚え、話せるようになります。それは、どうしてでしょうか？

子どもは、まわりの大人たちの話す言葉を、まずは音で判断して、それと同じ音を声に出してみます。そして、まわりの反応を見ます。

もし、その反応が微妙びみょうだった場合、自分が発した音がずれていると理解して、もう一度、調整して言葉を声に出します。そして、再びまわりの大人たちの反応を見ながら、じっくりくるまで修正する。その繰り返しで言葉を学んでいくわけです。

この「繰り返し」という行為こそが、学ぶことそのものといえます。

私が、なぜいきなり学ぶことについて語りだしたのか？

それには理由があります。

一般的いっぱんてきに、新しい知識※やスキルを身につけることを学ぶことと考える人が多いと思いますが、これからの答えのない時代には、それ以上に「自分で自分を学ぶ」姿勢しせいが大切になる。私は、そう考えます。

そして、本書のテーマである自分の頭の中を言語化する行為は、自分のことを繰り返し学んでいくことそのものでもあります。

自分は、どういう人間なのか。自分が大切にしているものは、なんなのか。本当は、なになやに悩んでいるのか。自分のことを繰り返し学ぶことによって、これまで気づかなかった自分の思いや意見をつかめるようになります。

そうやって、自分の頭のなかを言語化できていると、だれになにを聞かれてもパツと答えることができます。これが瞬時しゆんじに言語化できる状態というわけです。

(中略)

私たちは、毎年、毎月、毎日、毎時間、新しい経験を重ねます。新しい人と出会ったり、新しい考えや情報にふれたりして、自分の思いや意見は、気づかないうちに少しずつ変化していきます。

だからこそ、自分の頭の中を言語化して、常に自分の思いや意見を最新版にアップデートしておくことで、どんなときでも一瞬で思考がまとまって、変化にも対応しやすくなるのです。

(「こうやって頭のなかを言語化する。」より 荒木俊哉あらかしゆんや著)

※ スキル・・・訓練や学習によって習得できる能力や技能

設問（１）

（１） 資料②の ― 線部「ふく習」とありますが、次の条件にしたがって二字の熟語を考え、漢字で書きましょう。

〈条件〉○ 「ふく」を漢字に直し、「ふく習」以外の熟語を答えること。

○ 「ふく」という字が上にくるものと下にくるものをそれぞれ一つずつ答えること。

（ア）設問のねらい

漢字のもつ意味を考えて、熟語を作ることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔知識及び技能〕 (1)エ 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

（ウ）応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	41.0%	31.3%	26.8%	0.9%

（エ）正 答 例

- ・ 復帰、復活
- ・ 回復、往復、修復 など

設問（2）

（2） 資料②の~~~~線部「アップデート」は外来語といい、外国から入ってきた漢語以外の言葉が日本語として定着したものです。資料②の中から「アップデート」以外の外来語を一つ抜き出し、文脈に合うように外来語以外の表現に直しなさい。

（ア）設問のねらい

語句の分類について理解し、語彙を豊かにしているかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔知識及び技能〕 (3)ウ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。
----	--------------------	--

（ウ）応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	66.7%	19.8%	13.2%	0.4%

（エ）正答例

（外来語）	→	（外来語以外の表現）	
グループ	→	班、集団	
ポイント	→	点、か所、要点、所、観点、視点	
イメージ	→	印象、感想、考え、思い	
チャレンジ	→	ちょう戦（挑戦、ちょうせん）	など

設問（3）

（3） 資料②の ― 線部で、太郎さんは「話し合ったあとに、改めて絵を見ると、最初に見たときとイメージが変わる」と発言していますが、イメージが変わったのはなぜですか。資料④をふまえて、四十字以内で説明しましょう。

（ア）設問のねらい

文章を読み、目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして必要な情報を要約することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと (1)ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
----	--------------------	---

（ウ）応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	27.6%	47.9%	21.1%	3.5%

（エ）正答例

他の人の新しい考えや情報にふれる中で、自分の思いや意見が少しずつ変化したから。（39字）

設問（4）

（4） 資料②の花子さんの発言について、資料④をふまえて、空らん に当てはまる内容を四十字以内で書きましょう。

（ア）設問のねらい

文章を読み、語や文を基に必要な情報を見付けて要約することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第3学年 及び 第4学年	〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと (1)ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
----	--------------------	---

（ウ）応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	16.5%	76.8%	5.6%	1.1%

（エ）正答例

大人と同じ音を口に出し、まわりの反応を見ながら調整して、しっくりくるまで修正（38字）

設問（5）

（5） 資料②の空らん **B** には、資料③の太郎さんが「授業の最後に考えたこと」のBと同じ内容が入ります。あなたが太郎さんならどのようなことを書きますか。資料①から資料④をふまえて、解答らんに書きましょう。

（ア）設問のねらい

文章や図表から読み取り、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと (1)ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
図画 工作	第5学年 及び 第6学年	B 鑑賞 (1)ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。

（ウ）応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	3.6%	52.9%	36.3%	7.3%

（エ）正答例

ピカソは人々の苦しそうな様子をえがくことで、戦争のこわさを伝えたかったのだと思った。他の画家の戦争をえがいた絵も見てみたいと思った。

(2) 課題2

設問

A市の市立図書館では、年々、利用者数が減ってきており、利用者からは資料のような意見が届いています。そこで、利用者数を増やすために、どのような取り組みが効果的だと思いますか。条件にしたがってあなたの考えを書きましょう。

- 〈条件〉
- 資料の四つの意見から一つ選び、どの意見を選んだかわかるように書くこと。
 - 取り上げた意見に対応した具体的な取り組みを書くこと。
 - その取り組みで利用者が増えると考えた理由を書くこと。
 - 二百字以内で書くこと。(、や。や「」は一字に数える。また、アルファベットは一字に一マスを使う。)
 - 一マス目から書くこと。また、とちゅうで行を変えないこと。

資料【A市立図書館利用者の意見（一部）】

- ・ 小さな子どもを連れて行くと静かにできず、めいわくになりそうで利用できない。
- ・ 電子図書※を借りるとき、パスワード入力などの手続きが難しい。
- ・ 夏休みの自由研究や読書感想文に使える本が知りたい。
- ・ 本が古く、やぶれたページや見えなくなった文字がある。

※電子図書 … 紙でなく、電子的に記録され、画面で読む本や雑誌。
インターネットを使って、いつでもどこからでも借りられる。
音声読み上げや文字サイズの変更もできる。

(ア) 設問のねらい

示された課題に対し、提案や理由を明確にしなが、筋道を立てて自分の考えを文章に書くことができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第3学年 及び 第4学年	〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと
		(1)ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 (1)ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	12.4%	79.4%	7.7%	0.5%

(エ) 評価基準

資料のいずれかの意見を取り上げ、その解決策について具体的な取り組みを示し、取り組みが利用者を増やすと考える理由について筋道を立てて200字以内で述べているものを評価する。

(3) 課題3

太郎さんたちは、**地域間**のもののやりとりについて、調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

太郎：家族と買い物に行ったら、国内だけでなく、いろいろなところで採れた野菜が並んでいたよ。その中でも、かぼちゃの産地が気になったので調べてみると、**資料1**のように入荷していることが分かったよ。

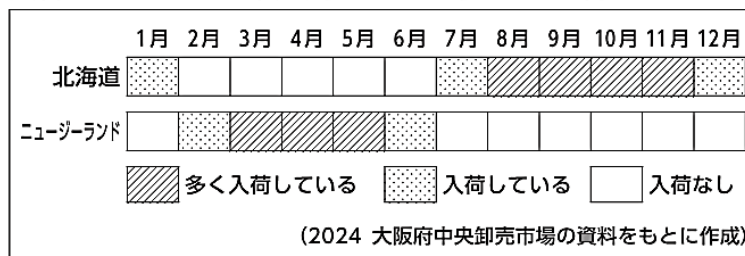
花子：主に、北海道とニュージーランドから入荷しているんだね。どうして、この2つの産地から、かぼちゃを入荷しているのだろう。

次郎：北海道とニュージーランドは、どのような特ちょうがあるのかな。気候にちがいがああるのかな。

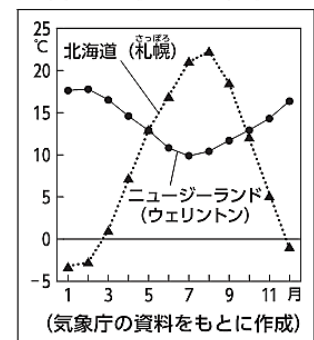
太郎：2つの産地の気温を調べてグラフにすると、**資料2**のようになるよ。

(1) **大阪府中央卸売市場**で、かぼちゃを主に2つの産地から入荷している理由について、**資料1・2**から読み取れることを関連づけて書きましょう。

資料1 かぼちゃの代表的な産地と月ごとの入荷量



資料2 月ごとの平均気温



(ア) 設問のねらい

複数の資料から読み取った情報を関連付けて、考えたことを適切に表現できるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第3学年	(2)イ(イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。
	第5学年	(1)イ(イ) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	40.8%	44.6%	13.8%	0.8%

(エ) 正答例

北海道とニュージーランドの季節が異なることを利用して、ほぼ一年をとおして、入荷がと切れないようにしている。

設問 (2)

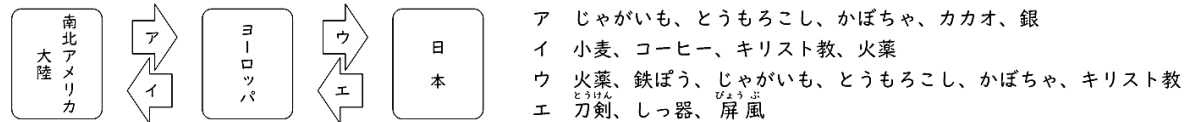
太郎：かぼちゃって、漢字で「南瓜」と書くよね。どうしてかな。

花子：調べてみると、名前の由来が「南蛮渡来の瓜」という説もあって、織田信長や豊臣秀吉が活やくした時期にヨーロッパから持ちこまれたそうよ。鉄ぼうやキリスト教以外にも、その時期に日本にやってきたものがあったんだね。

次郎：それらをまとめて歴史新聞を作ってみようよ。当時、世界でやりとりされた主なものを資料3のようにノートにまとめたよ。

資料3 次郎さんのノート

○南北アメリカ大陸、ヨーロッパ、日本との間でやりとりされた主なもの



【考察】日本に伝わった主なものは、その由来から2つのグループに分けることができる。

(2) 次郎さんは、日本に伝わった主なものは、2つのグループに分けられると考えました。あなたなら、資料3の【考察】の続きをどう書きますか。解答らんの書き出しの言葉に続けて、日本に伝わった主なものの名称と分け方を、由来と関連付けて書きましょう。

(ア) 設問のねらい

戦国時代に外国から伝わった事物について、移動する経路の類似性を読み取り、判断したことを適切に表現できるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第5学年	(3)イ(ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること。
	第6学年	(2)イ(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	16.1%	33.1%	38.6%	12.3%

(エ) 正答例

(1つ目のグループは、) ジャガイモ、とうもろこし、かぼちゃのように南北アメリカ大陸からヨーロッパを通じて日本に伝わったもので、2つ目のグループは、火薬、鉄ぼう、キリスト教のようにヨーロッパから日本に伝わったものである。

設問 (3)

太郎：国どうしのもののやりとりについて、気になるニュースを見つけたよ。資料4に見られる問題は、なぜ起こるのだろう。何か、できることはないかな。

花子：廃棄物を減らすには資料5のような工夫があるけれど、例えば、買い物をするとき、わたしたちにできるリデュースの取り組みには、どのようなものがあるのかな。

資料4 ニュースの内容

チリという国の港には、近年、新品・中古品を問わず、多くの衣類が他国から運ばれています。それらの大半は、安い値段にも関わらず、ほとんどが買われることなく砂漠に積み上げられ、廃棄物として放置されています。

資料5 廃棄物を減らす工夫

リサイクル：ごみを資源として再生して利用すること
 リユース：ものを捨てずに、くり返し使うこと
 リデュース：ごみを発生させない工夫をすること

(3) ① 太郎さんは、下線部の理由の1つを次のように考えました。BとCに当てはまる言葉の組み合わせを下のア～エから選び、記号で答えましょう。

自国でBできる以上の衣類がCされているので、余った衣類が廃棄物になってしまっていることが考えられる。

- ア (B 生産・C 輸入) イ (B 消費・C 輸入)
 ウ (B 生産・C 輸出) エ (B 消費・C 輸出)

② 買い物をするとき、あなたやあなたの家族ができるリデュースの具体的な取り組みを1つ考え、その取り組みがリデュースになるといえる理由を合わせて書きましょう。

(ア) 設問のねらい

持続可能な社会を実現する上で、現在問題となっている事象に関する資料を基に、問題が発生する原因や、自らが主体的に問題解決に関与する具体的な行動について、自分の知識や経験を活用しながら考えたことを適切に表現できるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第4学年	(2)イ(イ) 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現すること。
家庭科	第5学年 及び 第6学年	C 消費生活・環境 (1)イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。 (2)ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。

(ウ) 応答率

		正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
①	割合	80.1%	0.0%	19.4%	0.5%
②	割合	76.8%	12.6%	8.6%	2.0%

(エ) 正答例

- ① イ
 ② 洋服店では、よく考えて長く着られる服を買う。そうすれば、すぐに着なくなって捨てるような服のごみを減らせると考えるからだ。